

令和2年度事業報告書

概 要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症(以下「感染症」という。)の影響を受け生活様式が一変し、雇用情勢を始め社会経済活動は厳しい状況となりました。

厚木市シルバー人材センター(以下「センター」という。)においても、会員の就業先となる公共施設や事業所等の休館や休業によって、契約金額(請負・委任)は前年度を下回る4億5,410万円となり、また、入会説明会の開催中止によって年度末の会員数1,054人も前年度を下回り、年度当初に掲げた目標に達することができませんでした。

このようにセンターを取りまく環境は、新型コロナウイルス感染症禍(以下「コロナ禍」という。)の中で、極めて厳しい状況ではありましたが、会員の増強と受注の拡大を図るため、入会説明会の開催場所の増加、企業への訪問開拓、更に市内25,000世帯へダイレクトメールの送付など普及啓発活動を積極的に実施しました。

こうした結果、公共や企業との契約金額は減少しましたが、個人家庭からの契約金額は微増となり、センター事業が日常生活の基盤の一翼を担うことができました。また、労働者派遣事業においても、放課後児童クラブへの補助員派遣が本格的にスタートし契約金額1,639万円となるなど、コロナ禍の中でも会員及び役職員が一丸となり事業の推進に努めました。

以下、令和2年度の事業実施状況について報告します。

事業実績前年度対比

項 目		年 度		増減	前年度比 (%)
		令和2年度	令和元年度		
1	契 約 金 額 (千円)	470,491	484,027	△ 13,536	△ 2.8
内 訳	請負・委任 (千円)	454,101	477,483	△ 23,382	△ 4.9
	労働者派遣 (千円)	16,390	6,544	9,846	150.5
2	受 注 件 数 (件)	4,432	4,704	△ 272	△ 5.8
3	会 員 数 (人)	1,054	1,060	△ 6	△ 0.6
4	入 会 率 (%)	1.51	1.53	△ 0.02	—
5	就 業 実 人 員 (人)	935	984	△ 49	△ 5.0
6	就 業 率 (%)	88.7	92.8	△ 4.1	—
7	就 業 延 人 員 (人日)	89,404	94,037	△ 4,633	△ 4.9
内 訳	請負・委任 (人日)	86,236	93,297	△ 7,061	△ 7.6
	労働者派遣 (人日)	3,168	740	2,428	328.1

1 会員の増強

再雇用制度等の浸透や感染症の影響により、新入会員の大幅な増加が見込められない中、入会説明会の開催数や開催場所の増加、さらに市内の高齢化率の高い地区約 25,000 世帯へのダイレクトメール送付などの会員の増強に努めました。

また、未就業会員を含む既存会員に対して、就業情報の提供など、退会の抑制に努めました。

(1) 広報媒体を活用した事業展開

ホームページのリニューアル、会報「ねんりん」の発行を始め、厚木市広報「広報あつぎ」、ミニコミ誌「タウンニュース」等の広告掲載を活用し、会員の増強を図りました。

担当委員会等	実施項目
広 報	ア ホームページのリニューアル及び随時更新 イ 会報「ねんりん」の発行及び公共施設への配架 ウ 広報媒体への広告掲載 (ア) 厚木市広報「広報あつぎ」(5回) (イ) ミニコミ誌「タウンニュース」(6回) (ウ) 郵便局現金封筒広告及びポスター掲示 (市内郵便局8箇所) (エ) 市民便利帳(1回) (オ) 回覧板広告(4箇所) (カ) 住宅案内地図(1箇所) エ 年賀状を利用したダイレクトメールを市内 約 25,000 世帯へ送付

(2) 普及啓発活動の推進

植木班及び除草班が中心となり、年間を通じて作業場周辺へチラシを配布しました。

また、「公民館まつり」でPR活動を予定していましたが、感染症の拡大防止のため、中止となりました。

(3) 高齢社会に対応した入会促進

ハローワーク厚木と連携し、就業を希望する高齢者を対象としたセミナーでセンターの概要説明を2回予定していましたが、感染症の拡大防止のため、中止となりました。

入会説明会は「生きがいセンター」にて月1回開催でしたが、本厚木駅に近い「アミューあつぎ」も会場に加え、月2回の開催としました。

担当委員会等	実施項目
事務局	ア 入会説明会の開催 ※ 4～5月、1～3月は緊急事態宣言中のため未開催 (ア) 生きがいセンター 7回開催 (イ) アミューあつぎ 7回開催 (ウ) 入会者数 計120人(男81人、女39人) ※ 前年度 計146人(男112人、女34人) (エ) 退会者数 計126人(男93人、女33人) ※ 前年度 計142人(男95人、女47人)

(4) 女性会員の入会促進

女子の会「さつき」の活動状況を会報「ねんりん」や入会説明会で説明し、PRを行いました。

担当委員会等	実施項目
総務	ア 女子の会「さつき」サークル活動 回数 5回 参加人数 延べ46名 内容 コーラス

(5) 人材不足職種の人材育成

神奈川県シルバー人材センター連合会で実施した「高齢者活躍人材確保育成事業」を活用し、センターの人材が不足している職種の技能講習会を実施し、会員の増強を図りました。

担当委員会等	実施項目
事務局	ア 神奈川県シルバー人材センター連合会主催 「高齢者活躍人材確保育成事業」実施 (ア) 学童保育補助スタッフ養成講習会 参加人数 8人 (イ)刈払機講習会 参加人数13人 (ウ) 福祉家事援助スタッフ養成講習会 参加人数 6人

2 受注の拡大

感染症の拡大防止による施設等の休館により、公共及び企業との契約金額が昨年度と比較し大幅に下回る中、チラシ配付やダイレクトメールによる普及啓発活動などを行い、個人家庭からの契約金額は微増となり、コロナ禍であってもセンターの重要性が確認できました。

(1) 広報媒体を活用した事業展開

「会員の増強」と同様、ホームページのリニューアル、会報「ねんりん」の発行を始め、厚木市広報「広報あつぎ」、ミニコミ誌「タウンニュース」等の広告掲載を活用し、受注の拡大を行いました。

(2) 普及啓発活動の推進

地域活動委員会は「公民館まつり」でセンターPR活動を予定していましたが、感染症の拡大防止のため、中止となりました。

(3) 会員、役員及び職員による営業活動

個人家庭には、植木班及び除草班が年間を通じて作業現場周辺へチラシ配布を行い、PR活動を実施しました。

企業に対しては、業務開拓委員会が中心となって、営業活動を実施しました。なお、1月に予定していた営業活動は感染症の拡大防止のため、中止となりました。

担当委員会等	実施項目
業務開拓	ア 業務開拓委員による企業訪問 回数 3回 人数 6人 訪問箇所 15箇所

(4) 高齢社会に対応した受注活動

3年目となる「介護予防・生活支援総合事業」は、厚木市や地域包括支援センターとの連携及び会員の増強を図った結果、順調に推移しました。

(5) 労働者派遣事業と職業紹介事業の推進

労働者派遣事業「放課後児童クラブ補助員」が本格的にスタートし、継続的な事業の確保に繋がりました。

担当委員会等	実施項目
事務局	ア 労働者派遣事業 件数 1件(12箇所) 就業延人員 3,168人日 契約金額 16,390,176円

3 組織体制の充実

地域に密着した公益目的事業を実行するため、顧客満足度の向上を視野に発注者のニーズに迅速、柔軟に対応できるよう会員の資質向上を通して、就業体制の強化を図りました。

また、コロナ禍ではありましたが、効率的な事務事業を推進するために、委員会を始めとする「地域班」や「職種班」など、各組織間の連携強化をしました。

(1) 公益目的事業の推進

地域に密着した公益目的事業を着実に展開し、引き続き地域社会から信頼される事業運営を視野に組織統治の強化及び法令遵守の徹底を図ると同時に、地域班が中心となり社会奉仕活動を実施しました。

会員の就業に当たっては、受注情報による募集や配分会議による未就業会員等の就業を優先して行うなど、広く会員へ配分を行いました。

担当委員会等	実施項目
地域活動・事務局	ア 社会奉仕活動の実施 (ア) シルバーの日(社会奉仕活動)の実施 参加人数 224人(16地域班) (イ) 下校時児童見守りの実施 参加人数 14人(緑ヶ丘地域班) (ウ) 地域イベントに係る清掃作業の実施 参加人数 12人(玉川地域班) (エ) 「一日奉仕の日」 感染症の拡大防止のため中止

(2) 会員参画による組織運営の推進

センターの設立目的と基本理念を入会説明会及び既存会員接遇研修会開催時において説明し、意識の醸成を図りました。

会員自らが事業運営等に参画できる体制づくりのため、各委員会において委員会実行計画を作成し、「第1次基本計画」を着実に推進しました。

(3) 「地域班」活動の充実

地域班活動の役割とその重要性を入会説明会及び既存会員接遇研修会開催時に説明を行い、周知徹底を図りました。

また、地域班会議を開催し(第2回は感染症の拡大防止のため中止)、情報の伝達や共有化を図りました。

除草作業の繁忙期には、地域班が中心となって公園除草等の作業に従事しました。

担当委員会等	実施項目
地域活動 ・ 事務局	ア 繁忙期体制の支援 (ア) 公園除草 箇所 98箇所 実人員 281人 (イ) 道路除草 箇所 56箇所 実人員 118人 (ウ) スクールアシスタント 箇所 65箇所 実人員 167人 イ 地域班会議の開催 (ア) 第1回(7月) 参加人数 426人 内容 受注情報及び安全・適正就業強化 月間についてほか (イ) 第2回(2月) 感染症の拡大防止のため中止

(4) 「職種班」活動の充実

技能や経験が必要とされる植木剪定や除草作業は、未経験者等を積極的に活用し、グループリーダーが中心となり実務を通して育成を行うとともに、職種班会議を実施することにより、情報の提供と課題及び安全就業の共有化を図りました。なお、各職種班の全体会議は感染症の拡大防止のため中止になりました。

担当委員会等	実施項目
業務開拓	<p>ア 職種班会議の開催</p> <p>(ア) 除草班及び植木班合同リーダー会議 開催回数 1回 参加人数 13人 内 容 事故報告、見積算出方法についてほか</p> <p>(イ) 除草班リーダー会議 開催回数 1回 参加人数 12人 内 容 事故状況についてほか</p> <p>(ウ) 公民館管理班リーダー会議 開催回数 1回 参加人数 16人 内 容 正副班長選出、就業期間に関する取扱いについてほか</p> <p>(エ) 管理班リーダー会議 開催回数 1回 参加人数 11人 内 容 正副班長選出、就業期間に関する取扱いについてほか</p> <p>(オ) 駐車場管理班リーダー会議 開催回数 1回 参加人数 8人 内 容 新年度の自転車等駐車場管理についてほか</p>

(5) 会員の資質向上のための施策の推進

入会申込者及び管理業務従事者に対して接遇研修会の受講を必須とし、資質向上に努めました。

担当委員会等	実施項目
総務 業務開拓	ア 接遇研修会(新入会員) 開催回数 7回 参加人数 86人 内 容 接客マナー、安全就業についてほか
	イ 接遇研修会(既存会員) 開催回数 4回 参加人数 47人 内 容 接客マナー、安全就業についてほか

(6) 事務事業の合理化、省力化

全国シルバー人材センター事業協会や神奈川県シルバー人材センター連合会主催で開催する各種研修会及び会議に参加し、他市シルバー人材センターとの意見交換等による職員のスキルアップ、事務処理の合理化及び省力化に役立てました。

4 安全・適正就業の徹底

会員の傷害事故及び賠償事故並びに就業不履行等によるトラブルを未然に防止するため、安全管理委員会による安全パトロールや事故の状況確認のほか、事故を分析しその情報を各職種班と共有するとともに、事故の多い草刈や植木剪定に対して、安全講習会を開催し、再発防止に努めました。

(1) 安全・適正就業の推進

「安全・適正就業基準」を適正に運用することにより、事故等トラブル発生を抑止力に役立てました。

安全管理委員会による安全パトロールの実施により、事故の未然防止に努めるとともに、適正就業ガイドラインに則り、就業形態について接遇研修会、地域班会議、職種班会議等で説明を行い、周知徹底を図りました。

担当委員会等	実 施 項 目
安全管理	ア 安全管理委員会による安全パトロールの実施 巡回回数 12回 巡回箇所 28箇所 イ 安全就業を目的とした研修会等の実施 (ア) 接遇研修会(新入会員) 開催回数 7回 参加人数 86人 (イ) 接遇研修会(既存会員) 開催回数 4回 参加人数 47人 (ウ) 安全就業講習会 開催回数 1回 参加人数 13人 (エ) 交通安全講習会 感染症の拡大防止のため中止 (オ) 応急手当講習会 感染症の拡大防止のため中止

(2) 「安全・適正就業強化月間」の設定と関連事業の実施

ア 安全スローガンと就業マニュアルの遵守

7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、地域班会議にて点検作業や就業先のマニュアル自主点検などを呼びかけました。

神奈川県シルバー人材センター連合会が主催する「シルバー事業安全就業標語」の募集に5作品の応募があり、『手を抜くな 安全装備と作業手順 基本を守って無災害』が佳作に選ばれました。

イ 安全指導のための施策の推進

2月の第2回地域班会議において、神奈川県警本部及び厚木警察署から講師を招き、交通安全講習会を実施する予定でしたが、感染症の拡大防止のため、中止になりました。

ウ 会員の健康管理の推進

7月に開催した第1回地域班会議において、厚木市介護福祉課保健師を講師に招き、熱中症等会員の健康管理及び感染症に係る講習会を実施しました。

5 財政基盤の確立

「自主・自立」による安定した健全経営を念頭に、合理的な事業運営を推進し、財政基盤の確立を図りました。

(1) 受注額増加の推進

既存の発注者からの受注を維持するため、会員、役職員が一体となり普及啓発活動等による受注の拡大に努めましたが、感染症の拡大防止による休館や休業等により受注額の増加に繋がりませんでした。

(2) 経常経費の削減

公益目的事業に係る「シルバー人材センター事業」を推進するため、需要費など経常経費の削減に努めました。

(3) 補助金の確保

労働者派遣事業の拡大による、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」への参入により、補助金増額に努めました。

6 連携・交流活動の推進

円滑な事業推進のために行政機関等との連携を図り、会員及び役職員によって、センターの存在意義をアピールしました。

(1) 行政・地域関係団体との連携

引き続き厚木市及び地域包括支援センターなどと連携し、労働者派遣事業や介護予防・生活支援総合事業の推進を図りました。

(2) 会員及び地域組織との交流

自主サークル活動によって会員の増強に努めることにしていましたが、感染症の拡大防止のため、活動が休止状態となりました。

7 その他

(1) ボランティア活動等の実施

センター事業運営が、長年、地域の恩恵により支えられていることに感謝するとともに、センターの認知度の向上を視野に社会的意義をアピールするため、ボランティア活動（社会奉仕）を実施しました。

担当委員会等	実施項目
--------	------

事務局	ア 「一日奉仕の日」 感染症の拡大防止のため中止
地域活動	ア 「シルバーの日」 開催班 16 地域班(1 地域班は雨天のため中止) 参加人数 224 人 場 所 公共施設(公民館など) 内 容 除草清掃作業及びチラシ配付等

(2) 個人情報の保護

事業運営上必要となる「会員」及び「発注者」の個人情報について、個人情報保護規程及び特定個人情報事務取扱要綱に基づき、適正に取り扱いました。

(3) ホームページにおける情報公開の充実

ホームページをリニューアルし、保有する決算等の情報を適正に公開するとともに、会員及び市民の利便性の向上のため、掲載内容の充実により運用環境の整備を図りました。

(4) 会報の発行

センターの事業運営や会員の就業内容の紹介、健康管理など最新情報の共有や安全・適正就業を図るため、広報委員会の取材編集活動のもと、会報「ねんりん」を年2回発行しました。

なお、1月には節目となる第100号を発行しました。

(5) 独自事業の実施

センターの普及啓発活動の一環として事業展開を図っている

「正月用しめ縄飾り製作販売」、「刃物とぎ」事業を実施しました。

また、新たに受注の拡大及びセンターPRを目的とした「縫製事業」及び「空き家見回り事業」を開始しました。

附 属 明 細

1 会員の状況

令和3年3月31日現在の会員数は1,054人で、その状況は次のとおりです。

(1) 会員数

男	女	計
806人	248人	1,054人

(2) 会員の年齢階層別構成

年齢 性別	歳 60～64	歳 65～69	歳 70～74	歳 75～79	80歳 以上	計
男	人 13	人 119	人 287	人 239	人 148	人 806
女	13	33	107	69	26	248
計	26	152	394	308	174	1,054

(3) 地区別会員数

地 区	男	女	計
厚木北	人 60	人 18	人 78
厚木南	31	4	35
依知北	39	8	47
依知南	45	21	66
睦合北	34	15	49
睦合南	69	23	92
睦合西	34	20	54
荻野北	38	13	51
荻野南	30	8	38

地 区	男	女	計
荻野東	人 40	人 14	人 54
小 鮎	77	18	95
玉 川	22	3	25
南毛利	125	40	165
愛 甲	51	14	65
相 川	52	6	58
緑ヶ丘	22	9	31
森の里	37	14	51
計	806	248	1,054

2 事業の実績

(1) 受託・独自別

区分	受注件数	就業人員	就業延人員	配分金	契約金額
受託事業	件 4,432	人 23,782	人日 85,692	円 406,762,619	円 452,135,242
独自事業	2	79	544	1,874,370	1,966,390
しめ縄飾り	1	36	400	1,506,290	1,506,290
刃物とぎ	1	43	144	368,080	460,100
計	4,434	23,861	86,236	408,636,989	454,101,632

(2) 受注先別

区分	受注件数	就業人員	就業延人員	配分金	契約金額
公 共	件 130	人 7,044	人日 41,037	円 202,474,292	円 226,504,617
公 社	11	397	2,164	12,466,833	13,661,483
企 業	505	4,361	26,816	120,599,238	131,282,840
個 人	3,786	11,980	15,675	71,222,256	80,686,302
独 自	2	79	544	1,874,370	1,966,390
計	4,434	23,861	86,236	408,636,989	454,101,632

(3) 職群別

区分	受注件数	就業人員	就業延人員	配分金	契約金額
技 術 群	件 13	人 13	人日 19	円 52,665	円 56,718
技 能 群	2,348	7,853	9,390	45,287,338	53,393,933
事 務 群	45	102	469	2,451,828	2,681,744
管 理 群	26	3,848	29,507	152,017,198	167,035,235
折衝外交群	0	0	0	0	0
一般作業群	1,554	9,973	35,262	174,912,495	194,260,515
サービス群	448	2,072	11,589	33,915,465	36,673,487
計	4,434	23,861	86,236	408,636,989	454,101,632

(4) 派遣事業

区分	受注件数	就業人員	就業延人員	会員賃金	契約金額
派遣事業	件 1	人 52	人日 3,168	円 12,357,205	円 16,390,176

3 事務事業の実施状況

(1) 定時総会

開催日	報告・議案 番号	内 容
6月3日 出席者数 925 人 (委任 904 人含む)	報告第 1 号	令和 2 年度事業計画
	報告第 2 号	令和 2 年度収支予算
	報告第 3 号	令和元年度収支予算補正(第 1 号)
	報告第 4 号	令和元年度事業報告
	議案第 1 号	令和元年度収支決算
	議案第 2 号	理事の選任
	議案第 3 号	監事の選任

(2) 理事会

開催日	報告・議案 番号	内 容
第 1 回 5月1日 (書面表決)	議案第 1 号	令和元年度事業報告
	議案第 2 号	令和元年度収支決算
	議案第 3 号	理事候補者の決定
	議案第 4 号	監事候補者の決定
	議案第 5 号	令和 2 年度定時総会
	議案第 6 号	令和 2 年度表彰
	報告第 1 号	正会員入会申込者
第 2 回 6月3日	議案第 7 号	理事長、副理事長及び常務理事の 選定
第 3 回 7月14日	報告第 2 号	令和 2 年度事業実績
	報告第 3 号	正会員入会申込者
	報告第 4 号	委員会委員

開催日	報告・議案 番号	内 容
第 4 回 10月 9 日	報告第 5 号	令和 2 年度理事長、副理事長及び 常務理事の職務執行状況
	報告第 6 号	令和 2 年度委員会進捗状況
	報告第 7 号	正会員入会申込者
第 5 回 11月30日 (書面表決)	議案第 8 号	職員就業規程の一部改正
第 6 回 3 月23日	議案第 9 号	令和 3 年度事業計画
	議案第10号	令和 3 年度収支予算
	議案第11号	令和 3 年度資金調達及び設備投資 の見込み
	議案第12号	令和 3 年度委員会実行計画
	議案第13号	職員就業規程の一部改正
	議案第14号	事務局規程の一部改正
	議案第15号	委員会設置に関する規程の一部 改正
	報告第 8 号	令和 2 年度理事長、副理事長及び 常務理事の職務執行状況
	報告第 9 号	令和 2 年度委員会進捗状況
報告第10号	正会員入会申込者	
第 7 回 3 月30日 (書面表決)	議案第16号	令和 3 年度役員賠償責任保険の 加入について

(3) 監査

監事監査	令和 2 年度事業報告及び収支決算
定期監査 (外部)	令和 2 年度月次巡回監査、収支計算書及び 財務諸表確認

(4) 地域班関係

ア 第1回地域班会議(7月3日～7月31日)

地 域	参加人数 (人)	地 域	参加人数 (人)	内 容
厚木北	22	荻野東	20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 受注情報の提供 ○ 事業実績 ○ 安全・適正就業強化 月間 ○ 健康管理講習会 (班会議開始前又は 終了後)
厚木南	13	小 鮎	39	
依知北	25	玉 川	23	
依知南	43	南毛利	44	
睦合北	23	愛 甲	28	
睦合南	31	相 川	31	
睦合西	18	緑ヶ丘	14	
荻野北	19	森の里	19	
荻野南	14	計	426	

イ 第2回地域班会議(2月)

感染症の拡大防止のため中止

ウ シルバーの日(10月15日～10月26日)

地 域	参加人数 (人)	地 域	参加人数 (人)	内 容
厚木北	20	荻野東	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民館清掃・除草 ○ 道路清掃 ○ チラシ・ティッシュ・ PRマグネット配布
厚木南	17	小 鮎	14	
依知北	17	玉 川	16	
依知南	18	南毛利	32	
睦合北	17	愛 甲	5	
睦合南	中止	相 川	15	
睦合西	11	緑ヶ丘	14	
荻野北	11	森の里	2	
荻野南	8	計	224	

